

## 排除汚水量認定申告書

大野市長 様

申請者  
住所又は所在地  
氏名又は名称

TEL ( )

（法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名）

大野市下水道条例第22条第1項第1号から第3号の認定に当たり、使用水量と排除汚水量との間に相当の差が生じ、その差の水量を明示できるため、次のとおり汚水量の認定を受けたく、申告します。

<b>使用場所</b> <small>（該当番号を○で囲んでください）</small>	1 申告者の住所又は所在地と同じ    2 下記のとおり 大野市			
<b>排水設備等検査済証番号</b> <small>（下水道番号と同じ）</small>	—	<b>※市確認</b>		
<b>使用期間</b>	年 月 日 ~ 年 月 日	年 第 期		
<b>使 用 水</b>	<b>使用水量 A (a+b+c)</b>	m3	<b>※市確認</b>	
	<b>使 用 水 区 分</b>	a 地下水		m3
		b 上水道		m3
		c その他		m3
<b>☆ 減 水 量 B</b>	m3			
<b>排除汚水量 C (A - B)</b>	m3		下欄認定審査	
<b>根 拠（減水量内訳）</b>				
<b>番 号</b>	<b>終 計測器指計 D</b>	<b>始 計測器指計 E</b>	<b>減水量 (D - E)</b>	<b>備 考</b>
	指計年月日	指計年月日		
	年 月 日	年 月 日	m3	
	年 月 日	年 月 日	m3	
<b>計</b>			m3	=☆減水量 B

（注）申告は、申告する使用期の使用料請求月（奇数月：1・3・5・7・9・11月）の7日（必着）までに、必ず行ってください。

<b>※認 定</b>	1 認定排除汚水量 ( m3)	2 非認定	<b>※市確認</b>	
<b>※備 考</b>			<b>※年度使用期</b>	—

※欄は、記入しないでください。

記入例

様式（第4条関係）

令和〇〇年〇月〇日

排除汚水量認定申告書

大野市長 様

申請者

住所又は所在地

大野市天神町1-1

氏名又は名称

大野 太郎

TEL 0779(66)1111

(法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

大野市下水道条例第22条第1項第1号から第3号の認定に当たり、使用水量と排除汚水量との間に相当の差が生じ、その差の水量を明示できるため、次のとおり汚

建物に貼ってある「排水設備等検査済証（青色）」に記された行政区および番号をご記入ください。

使用場所 (該当番号を○で囲んでください)	1 申告者の住所又は所在地と同じ 大野市	2 下記の	
排水設備等検査済証番号 (下水道番号と同じ)	天神町 - 123		※市確認
使用期間	令和〇〇年2月25日 ~ 令和〇〇年4月25日		令和〇〇年第1期
使用水量	使用水量 A (a+b+c)	120 m3	
	使用水区分	a 地下水	120 m3
		b 上水道	m3
	c その他	m3	
☆ 減水量 B	20 m3		
排除汚水量 C (A-B)	100 m3		下欄認定審査
根拠（減水量内訳）			
番号	終 計測器指計 D	始 計測器指計 E	減水量 (D-E)
	指計年月日	指計年月日	
	80	60	20 m3
	令和〇〇年4月25日	令和〇〇年2月25日	
	年 月		m3
			20 m3 = ☆減水量 B

大野市の検針員が検針した際の「検針票」に記された使用水量をご記入ください。

現在の減水量メーター検針値をご記入ください。(※検針値の小数点以下は切り捨ててご記入ください。)

(注) 申告は、申告する使用期の使用料請求月（奇数月：1・3・5・7・9・11月）の7日（必着）までに、必ず行ってください。

※認定	1 認定排除汚水量 ( m3)	2 非認定	※市
※備考			※年 使用

こちらの欄は空白で結構です。

※欄は、記入しないでください。